

建設事業の生産力向上 ～働き方改革の推進～

『社員が能力を発揮できる、
働きやすい職場環境の整備』

当社は、誰もが持てる力を十分に発揮し、健康で生き生きと仕事に取り組める労働環境の実現を目指し、仕事の在り方を変える業務の効率化や、従業員満足度を高める福利厚生の実施などにより、働きやすい職場環境の整備を進めています。

「OKUMURA LIFE WORK PLAN 115」

当社は、政府が主導している「働き方改革」や、建設業界全体での「長時間労働の是正」、「週休二日の実現」の取り組みと協調し、建設業の魅力向上を目指して「働き方改革推進委員会」を立ち上げ、創業115周年となる2022年に向けたアクションプラン「OKUMURA LIFE WORK PLAN 115」を制定しました。

具体的な目標として、「4週8閉所に向けて段階的に現場閉所日を増やす」、「所定休業日以外にも年休等の取得を推進する」、「全社員を対象として残業時間を縮減する」ことを掲げています。

これらの目標の達成には生産性向上が不可欠であることから、ICTの活用などに取り組み、職員一人一人についての業務の効率化を見直していきます。



スマートデバイスの活用推進

工事担当者の施工管理業務は、安全朝礼、測量、検査などの工事所での作業に加え、書類作成などのデスクワークも多く、労働時間の削減のためにはそれらの業務の効率化が不可欠です。当社は、クラウドサービスを利用した図面や資料のデータ共有、工事写真の撮影・管理、仕上げ検査、コミュニケーションツールなどにスマートデバイスを活用することで、場所にとらわれずに業務を遂行できる環境の整備を進め、業務の効率化を推進しています。既存のアプリの活用だけでなく、安全管理を効率化する「KY(危険予知活動)記録表作成システム」など、業務に合わせたアプリも独自に開発しています。



スマートデバイスによる工事写真撮影



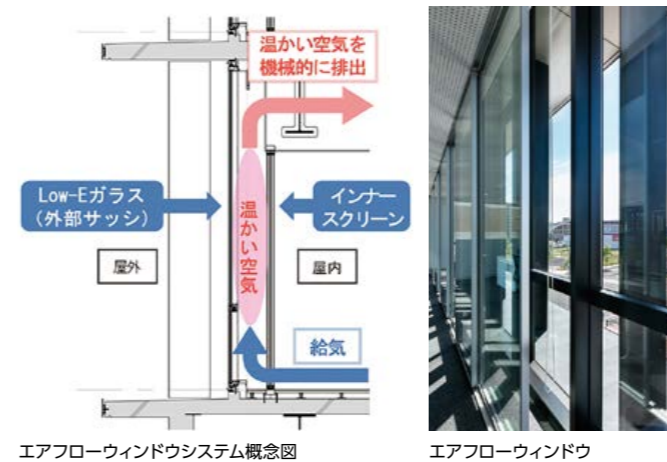
現場と事務所のコミュニケーション



スマートデバイスの使い方の研修

オフィス環境の改善

老朽化した社屋の建て替えにともない、働きやすい職場の整備を目指し、オフィス環境の改善を順次推進しています。新社屋となった九州支店や広島支店には開放的な広い窓を設けるとともに、日射による室内の温度上昇を抑えるエアフローウィンドウシステムや、空調エネルギーを削減する自社開発のパッシブリズム空調システムを採用しており、省エネに配慮した快適な執務空間を実現しています。また、同社屋には備蓄倉庫やポータブル発電機を備え、BCP(事業継続計画)活動拠点とするなど、従業員が安心して仕事に取り組みやすい環境を提供できるよう努めています。



エアフローウィンドウシステム概念図

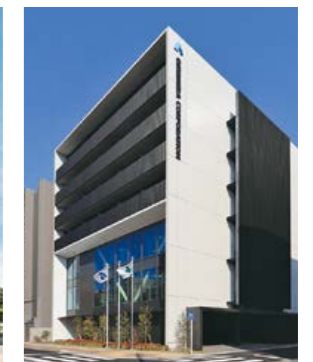


エアフローウィンドウ

採用事例



奥村組九州支店
(2016年竣工 北九州市)



奥村組広島支店
(2018年竣工 広島市)

住環境の改善(福利厚生の充実)

従業員が安全、快適に暮らせる住環境の整備を目的に、自社寮・社宅の整備に取り組んでいます。古くなった自社寮・社宅の建て替えに加えて、既存施設の居住性や耐震性能を向上させるリノベーションも行っています。



阿倍野寮(2017年竣工 大阪市)



王寺本町社宅(2017年竣工 奈良県北葛城郡)

健康経営優良法人2018(ホワイト500)認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で主催する「健康経営優良法人2018(ホワイト500)」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康問題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。今後も、すべての従業員が個々の能力を最大限に発揮できるよう、健康経営を推進し、生き生きと活躍できる職場づくりに努めていきます。

